

(別紙様式)

教科用図書調査に関する報告書

教 科	理 科
-----	-----

発行者 の略称	教 科 書 名	選定委員会から付された意見
東 書	新しい科学 1 新しい科学 2 新しい科学 3	・表紙は、どんなことを学ぶのか生徒がワクワクする写真を使用している。 ・導入時の挿絵が見やすく、生徒の興味を引きやすい。 ・1年の硝酸カリウムの溶解度や2年の露点を求める学習は説明と内容が充実している。 ・付録には、生徒の理解を助ける効果が期待できる。 ・地学に関する領域の内容が物足りない。 ・1年の地震の学習で、地震のメカニズムをこんなにやくで説明しているが、新しい発想ではない。 ・3年「金星の満ち欠け」についての説明が不十分である。 ・教科書の縦に長い形はどういう配慮に立ったものか疑問である。学校の標準的な大きさの机のサイズでは、置きにくい。 ・専門性にこだわりが少ない印象をもつ。
大日本	理科の世界 1 理科の世界 2 理科の世界 3	・1年の物理領域 P147～158「光の性質」、P164「音の伝わり方」、P185「力のつり合い」の説明がわかりやすい。 ・1年の密度の計算では、小学校で学習した小数の割り算の仕方を記載するなど、きめ細やかな配慮がされている。 ・2年の生物領域 P93「多細胞生物の体の成り立ち」、P110「植物の断面の模式図」、P119「消化のしくみ」では、全体を示した後に個々の器官を表すなど、図の示し方に工夫がある。
学 図	中学校科学 1 中学校科学 2 中学校科学 3	・巻頭に、レポートの書き方や発表スライドの作り方が記載されており、自分の考えをまとめて表現する活動に重点を置いている。 ・「サイエンスカフェ」は生徒が興味をもつ題材が多い。 ・地学に関する内容の説明が詳しい。 ・高校の普通科では、地学の履修率が低い現状があるため、中学校において、地学に関する学習を充実させる必要がある。 ・1年 P233 大阪北部地震のデータ処理の学習では、地震の伝わり方について、学術的な手法をとっている。 ・2年 P115 養分の消化の学習では、高校の科学でも使用されている図を掲載し、専門性も高い。 ・巻頭にある「理科のトリセツ」という言葉は、教科書の表現として違和感がある。 ※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。

教 出	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3	・「ハローサイエンス」や「科学者列伝」等、生徒の興味を引きやすい。 ・要点や重点用語の整理、基本問題により、知識の定着は期待できるが、観察、実験の学習においては、課題の近くに結論が記載されているため、いろいろと考え、話し合って学びを深めることが難しい。
啓林館	未来へひろがるサイエンス 1 未来へひろがるサイエンス 2 未来へひろがるサイエンス 3	・導入時の挿絵等が見やすく、生徒の興味を引きやすい。 ・章ごとのまとめがわかりやすく、何ページで履修したか、詳細な記載がある。 ・2年 P98「部活ラボ」は、生徒にとって親しみやすい内容である。 ・神戸や淡路など、兵庫県が多く取り上げられている。 ・1年 P150 算数・数学との関連や P225 凸レンズによる実像の作り方等、特につまづきやすい学習の際に、理解を助け、学習を深める工夫がなされている。 ・3年の塩酸と水酸化ナトリウム水溶液による中和反応の学習では、他社と違い、塩酸を過剰に加えた場合も示されており、深い学びにつなげることができる。 ・QRコードが充実している。 ※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。